



喫煙問題検討委員会 News



第 1 号 2002.6.26

院内喫煙対策委員会とは

経営会議の諮問を受けて組織されました。職員の健康を受動喫煙から守るために、病院としてより有効な喫煙に対する対策を取れないか、患者や教職員の健康を守り啓蒙する病院としての立場などを総合的に考えて、どのような有効で多くの人の同意が得られる対策が取れるのかを検討するために設置されました。構成メンバーは、大竹 修一（委員長）、武藤大成（医局）、柴崎竹司（薬剤部）、遠藤邦子（看護部）、鈴木文博（事務・書記）の 5 名。

第一回目の委員会が開催された

6 月 17 日開催。出席者は 4 名（武藤先生は緊急手術で欠席）。大まかな現状を把握するために、東北大医学部で今年 4 月から始まった建物内全館禁煙（病院、医局、事務棟、学生講義室すべて）の事例が紹介されました。昨年からはじめた医師会や循環器学会、肺がん学会などの禁煙宣言、禁煙啓蒙キャンペーン、看護部の禁煙推進キャンペーンなど何らかの新しい対策を求める動きがすでに始まっていることの報告や、和歌山県で 4 月から始まった全公立学校（小中高）の敷地内禁煙や山形県松山中学校などの敷地内禁煙の概要も報告されました。〈別紙参照〉

全体的な方向性として、吸う吸わないは個人の自由であるが、最近になってさまざまなタバコの害が明らかになっており、医療従事者という立場からも、喫煙に対して「新しいルール作り」が求められているという認識で一致しました。もし、対策を行うならば、東北大学医学部相当の規制を行うべきだし、やらないなら、現状維持にして中途半端な対策はしないほうがいいとの意見がでました。

但し、今の病院職員の喫煙状況、集会所などでの喫煙の実態などの詳細は不明なので、早急にアンケート調査などをして、意識調査や喫煙状況を把握することを確認しました。

合わせて、職員向けの啓蒙活動や、情報伝達につとめて、なるべく多くの方に同意が得られるような有効な対策を諮問できるようにという意見が出ました。このニュースレターもその一貫です。

今後の予定



アンケート調査は 7 月 1 日の第 2 回目の話し合い後の、7 月中の予定です。プライベートな内容も含まれるので匿名で封書回答のような形態にしたい意向です。今後、喫煙に関する勉強会や禁煙へのサポート、意見交換会などを開いて、多くの方に意見を聞けるような進め方で行きたいと思っています。

委員の方へ、是非、ご意見などを寄せてください。

文責・大竹